



KBF 関甲新学生野球
2022 オータムカップ

上武大学B戦
8-6

山梨学院大B戦
0-8

写真 2回、2塁打を放った常磐大Bの石塚(2年)



常磐A 後半の追い上げ実らず惜敗
常磐B コールド阻止ならず完敗

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
上武B	2	0	0	0	0	4	2	0	0	8	11	2
常磐A	0	0	0	0	0	0	2	4	0	6	5	2

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
常磐B	0	0	0	0	0	0	0			0	4	1
山学B	2	0	0	3	3	0	X			8	9	0

関甲新学生野球・オータムカップ、常磐大学Aは最終戦の上武大学B戦を 8-6 で、常磐大学Bは第4戦、山梨学院大学B戦を 0-8 (7回コールド) でそれぞれ敗北した。また、13日に予定されていた常磐B対群馬大学の試合は、群馬大の辞退により、常磐大Bの不戦勝となった。

【11/6 上武大学新町野球場】常磐大学Aは初回、2点を失うものの、その後5回まで両者とも無得点に終わる。迎えた6回、上武Bの攻撃、1,2番の連続適時打でこの回4点を失い、点差を6とされる。続く7回、2四球の後、9番の適時打でその差を8とされる。7回コールドが危惧される後がない常磐Aは7回裏、代打安藤出望(2年)、代打大崎翔(3年)が連続四球で出塁、6番石原裕太(2年)の適時二打で2点を返す。続く8回、先頭の代打飯塚大翔(2年)、9番川波祐貴(2年)の四死球、1番大隈聖蓮(2年)の安打で無死満塁とすると代打の主将・高栖雅哉(3年)の押し出しとなる四球、続く3番小関貫太(2年)、5番大崎の適時打、6番石原の犠牲フライなどで4点を返し、2点差まで縮める。しかし、反撃はここまで。8-6で敗戦した。バッテリーは、荒木嶺臣(2年)、野口(2年)、山田早喜(2年)、塚田晴斗(1年)ー長瀬祥太(2年)、三浦彰浩(2年)ー飯塚。(文・高栖雅哉)

【11/6 山梨学院大学川田野球場】1回裏、常磐Bは四球と安打、暴投で2点を失う。常磐Bの攻撃は2回表、1死から5番石塚大樹(2年)が適時打、6番鈴木啓太(1年)が内野安打で出塁し1死1,3塁のチャンスを作る。しかし、後続が併殺打に倒れ、無得点に終わる。その後は、4回3点、5回3点と失点を重ねる。反撃したい常磐大学の打線であったが、出塁はするものも、チャンスを作ることができず、0-8(7回コールド)で敗戦した。バッテリーは、助川凱(1年)、仁藤直哉(1年)、花枝元気(1年)、飯田洋介(2年)ー石塚。(文・遠藤優太)

星取表 (2022年11月6日現在)

	常磐A	上武B	平成国際	茨城	試合	勝	負	勝率
3	常磐大A	★	★	☆	3	1	2	.333
1	上武大B	☆		☆	2	2		1.000
1	平成国際大	☆		☆	2	2		1.000
4	茨城大	★	★	★	3		3	.000

	関東学園	上武C	常磐B	山学B	群馬	試合	勝	負	勝率
2	関東学園大	☆		★	☆	3	2	1	.667
3	上武大C	★	☆	★	☆	4	2	2	.500
4	常磐大B		★	★	☆	3	1	2	.333
1	山梨学院大B	☆	☆	☆	☆	4	4		1.000
4	群馬大	★	★	★	★	4	4		.000

予告

常磐大B vs 関東学園大
11月12日 12時
常磐大学野球場